

「絆」に込めた思い

保険という商品は、かたちをもちません。

保険は人の一生に寄り添い、人と人をつなぎ、未来へのよすがとなる「絆」そのものです。

私たちは、お客さまと絆を結ぶことを仕事としています。お客さま一人ひとりと誠実に向き合い、共に未来を考えていくという、重く尊い使命を担っているのです。

そうしてしっかりと結んだ絆を、社会に広げ、未来に確実につなげていくのが私たちの責任です。

かたちのない商品は、信頼がすべて。

だからこそ、お客さまに良い絆を結んだという安心をお届けすることが何よりも大切なこと。2度にわたる行政処分を通じて、改めて気付かされた私たちの存在意義がここにあります。

お客さまとの確かな「絆」を再確認し、より強固なものとするために、2005年12月から「きずな再確認運動」を全社で展開するなど、明治安田生命は今、生命保険の原点に立ち返って、誠心誠意をもって安心をお届けする会社に生まれ変わろうとしています。

その永続的な姿勢を、経営理念～企業ビジョン～行動規範を改定することでお客さまにお約束するとともに、このたび制定した「CSR経営宣言」を通じて、具体的な行動としてお伝えしていきたいと考えています。

「絆」という文字に私たちの反省とお約束の思いを込めて、本報告書をお届けいたします。

これからの明治安田生命にご期待ください。

明治安田生命保険相互会社
取締役会長 代表執行役

関口 憲一



CSR経営への決意

2005年の2度にわたる行政処分。

生命保険事業の根幹は信頼であり、その一翼を担う企業として、決してあってはならない事態に陥った事実と正面から向き合い、「私たちが本当に大切にしなければならぬものは何か」と問い直しました。

そこで、原点に立ち返り、「お客さまを大切にすること」を経営理念に掲げ、明治安田再生プログラムを軸に取組みを開始しました。

そして、再生プログラムの開始から1年が経過した今、私たちの思い、これまでに行なってきた取組みを改めて社会にお伝えすべく、CSR報告書を発行することとしました。

『お客さま・従業員・社会からの支持や信頼があって、初めて会社が存在できる』

その思いを忘れず、私たちに寄せられた厳しいご批判や期待を込めた激励など、みなさまからいただいた多くの「声」を大切に、経営に反映していくことが使命であると考えています。

現状に満足することなく、改革の歩みを止めることなく、本来あるべき姿をひたむきに追究し続けること、それが明治安田生命のCSRです。

ただし、今はまだ道半ば。

私たちの社会的責任・使命をCSR経営に反映し、品質・サービスの向上に向けて、引き続き努力してまいります。

みなさまの声が、私たちの力になります。明治安田再生プログラムの開始から今日までの取組みを総括している本報告書をお読みいただき、どうかたくさんのお声をお寄せくださいますようお願いいたします。

明治安田生命保険相互会社
取締役 代表執行役社長

松尾 憲治

